

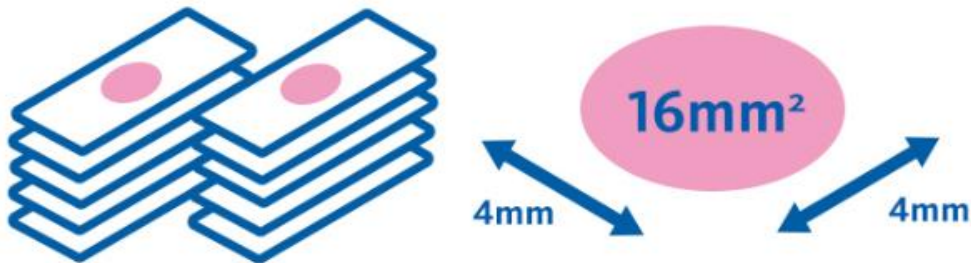
腫瘍組織 (FFPE)

ご用意いただくFFPE標本について

厚さ10 μ mの切片（未染薄切標本）を5枚程度ご用意ください。
（5 μ mの切片の場合は10枚程度）

検査不成立やDNA収量不足を避けるため、以下にご留意ください。

- スライド中の腫瘍細胞が20%以上であることをご確認ください。
 - * 腫瘍細胞が20%未満の場合はマクロダイセクションをお考えください。
- 1スライドあたり16mm²程度の組織を提出してください。
 - * 4mm²以上の組織であれば本品の推奨インプット量である200ng以上の総DNA量が得られることを確認しておりますが、16mm²程度の組織を推奨しています。



FFPE標本の取扱い

FFPE標本はホルマリン固定処理により組織中の核酸（DNA）の断片化を伴うため、医療機関の定める方法、または各種のガイドラインに記載の条件に基づいて、適切に取り扱ってください。

酸脱灰した検体はDNAが分解しているため検査不能となる可能性がありますのでご注意ください。

例：ゲノム診療用病理組織検体取扱い規程(日本病理学会作成) 推奨条件

- 固定には10%中性緩衝ホルマリン十分量を使用してください。
- 短時間（48時間以内）に固定を完了させてください。
- 作製後3年以内の標本を使用してください。

コンタミネーションの防止

切片作製時に別の患者由来FFPE切片とのコンタミネーションを避けるため、以下の操作を行ってください。

- 検体ごとに毎回新たなマイクロームブレードを使用してください。
- ウォーターバスは検体ごとに毎回洗浄してください。
- 手袋は頻繁に交換してください。